

都市部で小1全員を対象とした調査は全国初 「子どもの健康・生活実態調査」本格実施しました！

足立区では、全ての子どもたちが生まれ育った環境に左右されることなく、自分の将来に夢や希望が持てる社会の実現を目指します。その第一歩として、子どもたちの「今」を知るために、「子どもの健康・生活実態調査」を本格実施しました。今後、調査で得られた内容を分析し、計画の見直しの中で貧困の連鎖を断つ政策に繋げていきます。



1 調査の概要

(1) 目的

貧困が子どもの健康や生活状況に与える影響の把握、その経路・要因の探索、区が実施する施策の効果等を分析し、子ども施策のさらなる充実を図ります。

貧困の連鎖を断つために、区全体の子どもたちの健康や生活実態を把握するための調査です。

都市部において、教育委員会を含めた自治体と研究機関が協働で、小1全員を対象とした大規模な調査を実施するのは**全国初**

(2) 対象

区立小学校に在籍する全小学1年生(5,421名)の保護者

(3) 実施方法

足立区と国立研究開発法人国立成育医療研究センターが協働で実施。

無記名アンケート方式。質問票の配付・回収は足立区が学校を通じて行い、結果集計・分析は国立研究開発法人国立成育医療研究センターが実施。

(4) スケジュール

平成27年 7月	先行調査の実施(6校)
8月	先行調査の検証

7月に実施した先行調査を検証した結果、大幅な見直しを生じるような課題はなかったため、残る全校に対して先行調査と同様の方法・質問内容で本格実施を決定。

10月30日

～11月13日 本格調査の実施(63校)

平成28年 4月(予定) 分析結果の集約

(5) 質問内容

全17問 12ページ 別添調査票見本参照

- ・ 子どもの健康状態や生活習慣
- ・ 保護者自身の健康状態や子どもとの接し方、経済状況等
(食習慣、歯みがき習慣、生活リズム、自己肯定感、就業状況、世帯の収入、社会的つながり等)

目標の6割を
超えて8割の
回収!

2 回答票回収率(暫定値) 11月20日現在

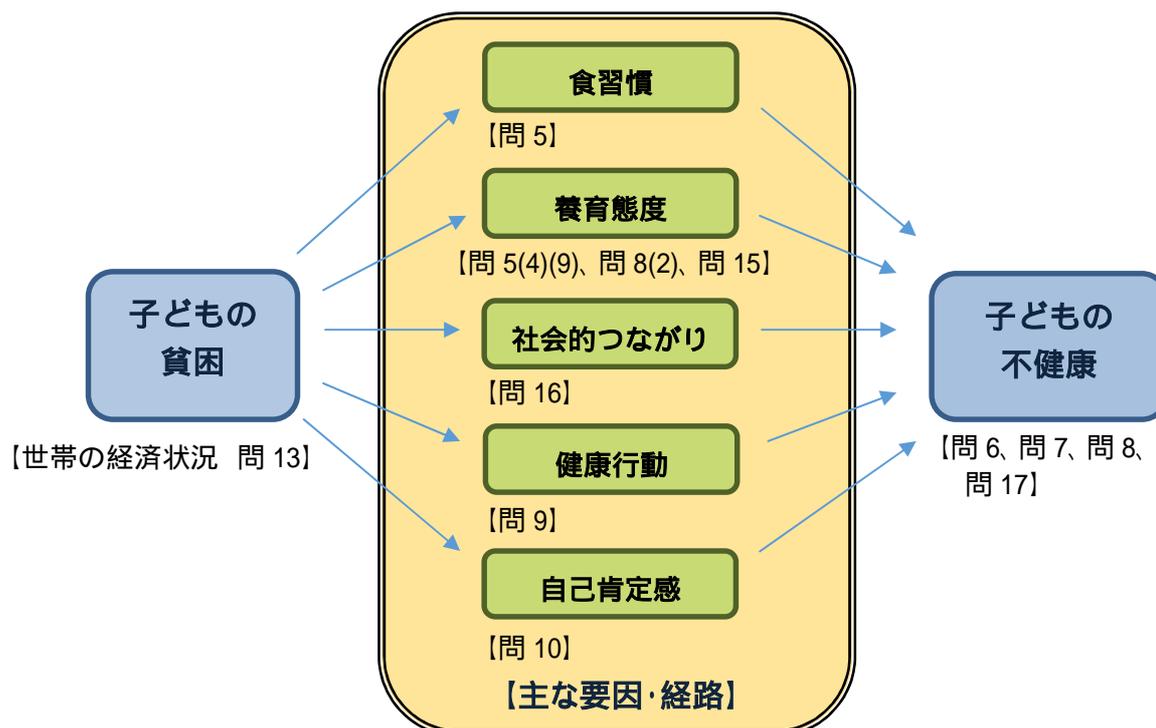
	調査対象 件数(A)	調査票配付 件数(B)	回答票回収 件数(C)	回収率(% (C/B))
69校計	5,421	5,355	4,470	83.4

3 主な質問とその趣旨

足立区では、子どもの貧困を家庭の経済的な困窮だけではなく、地域社会における孤立や健康上の問題など、個々の家庭を取り巻く成育環境全体にわたる複合的な課題と捉え、その解決や予防に向けて取り組んでいきます。

今回の調査では、以下のような質問を設定しました。

図1 主な質問内容と子どもの貧困と不健康、その間にある経路・要因一覧



質問趣旨の具体例

【問5】(P2) 食生活に関する質問

- ・「おいしい給食」や「あだちベジタベライフ」の健康施策は、貧困世帯の子どもへの影響を食い止める効果があるか。
- ・夕食を一人で食べることは、その子どもの自己肯定感など精神行動発達にどのように影響しているか。

【問8】(P4) 歯の健康や歯みがきの様子

- ・貧困と子どもの虫歯との関連があるか。
- ・あだちっ子歯科健診とその受診勧奨施策は効果があるか。

【問16】(P10) 社会的つながりに関しての質問

- ・貧困の程度の中でも、社会的排除にまで進むことが一番重症と考える。
- ・貧困と子どもの健康状態との関係について、地域のつながりが強いことで緩衝できるか検討する。

【問12】(P7) 親の教育歴、【問13】(P8) 経済状況、【問14】(P9) 就業状況

- ・どのような背景の親のもとで子どもは生活しているのか。
- ・親の学歴、収入、就業状態が子どもの貧困と健康にどのような影響を与えているのか。
- ・どのような学歴、職種、年収の親であっても子どもが健康に暮らせるよう、その影響を緩衝する経路・要因は何かを明らかにする。

4 子どもの健康・生活実態調査の分析と子どもの貧困対策への活用

調査の協働実施者である国立成育医療研究センターにおいて、貧困指標と健康指標および経路・要因を掛け合わせた丁寧な媒介分析を行います。

(1) 子どもの貧困と健康への影響をつなぐ経路を明らかにする

(2) 明らかになった経路・要因への対策を検討する

(3) 優先的に取組む対策を定め、貧困を断ち切る

5 平成28年5月に区民・関係者向けの「調査報告会」を開催予定

調査結果を報告し地域全体で取組みを検討します。貧困が子どもに与える影響を和らげることで健康な区民を輩出し、貧困の連鎖を断ち切ります。

6 今後の健康・生活実態調査

今回の調査対象となった現小学校1年生には、今後の経過を見ていくため、小中学校在籍期間に4回程度（小2、小4、小6、中2）の継続調査を検討しています。また、今後定期的に小学校1年生に調査を行い、実態の定点測定をしながら施策の効果があつたかなどの評価を行っていく予定です。

【問合せ先】

衛生部こころとからだの健康づくり課長 馬場 優子

電話（3880）5433